

研究協力のお願

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

下部消化管穿孔における致死的风险因子の検討
1. 研究の対象および研究対象期間 2016年1月1日から2024年12月31日に昭和大学藤が丘病院消化器・一般外科で、下部消化管穿孔に対して緊急手術を行った患者さん
2. 研究目的・方法 目的：下部消化管穿孔は早急な手術加療を行わなければ致死的风险となり得る疾患で、同時に術前および術後の治療がとても重要です。また治療を行う上で、致死的风险となるリスク因子を把握することが重要であり、本研究を通して致死的风险因子を明らかにすることを目的とします。 方法：当院で下部消化管穿孔に対して緊急手術を受けられた方を対象とし、臨床データを集積したのち、4の項目で示した各種臨床諸因子に関してデータ解析を行います。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 患者背景(性別、年齢、身長、体重、BMI、内服薬、既往歴、現病歴)、来院時バイタル所見、手術詳細(施行術式、穿孔原因、手術時間、術中出血量)、臨床検査所見(血算、生化学、凝固、血液ガス、各種培養(血液、術中腹水)検査所見、X線所見、CT所見)、治療内容(血液透析の有無、カテコラミン投与の有無、ステロイド投与の有無、輸血の有無)および治療成績(発症から手術までの所要時間、SOFA score、術後合併症、入院期間)
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません

6 . 研究組織

研究責任者	昭和大学藤が丘病院	喜島 一博
研究分担者	昭和大学藤が丘病院	田中 邦哉
		原田 芳邦
		鈴木 香緒里

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院（消化器・一般外科）

氏名：喜島 一博

住所：〒227-8501 神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30

電話番号：045-971-1151